

一般社団法人 広島県中小企業家同友会 尾道支部 会報誌

【尾道支部 2024 年度スローガン】同友会を活用し、新たな未来を築こう！～すべては自社のために～

【新会員紹介】

福山で一番「ありがとう」と言われる
葬儀社を目指して。

株式会社森山仏商

取締役支配人

森山 裕紀氏



今月の見どころ

2月支部例会は、「自社のブランディングはなぜ必要なのか」のテーマで自社の強みや売りを社内で共有し、社外へ発信しているか投げかけました。報告者は「おのみちにゃモン」を運営する㈱鉄道広告専務取締役の池田頼紀氏でした。当日は報告とグループ討論を行い、自社のブランディングについて考えることで自社の強みを客観的に再認識し、どうPRしていけばよいかを学ぶことができました。また、時代により遅れないために新たなことに挑戦していくことの重要性や自社の売り込み方、他社との差別化を図ることの大切さ、地域の中での need one、only one となる企業になることの大切さを再認識しました。

INDEX

- P2.3……2月支部例会
- P4………新会員紹介
- P5………組織総務委員会
- P6………青年部会、女性部会
- P7………支部理事会報告
- P8………行事案内、スケジュール

2月支部例会

自社のブランディングはなぜ必要なのか ～自社を知ってもらい付加価値を高めるには～

報告者 (株) 鉄道広告 専務取締役 池田 頼紀 氏

■日程：2025年2月20日（木）19：00～21：00

■会場：しまなみ交流館大会議室

2月の支部例会では、(株)鉄道広告の専務取締役である池田頼紀さんが、「自社のブランディングはなぜ必要か」というテーマで報告を行いました。池田さんは尾道のご当地キャラクターの「おのみちにゃモン」プロジェクトのチームリーダーをしており今回の発表では鉄道広告のイメージや商品価値を高めるブランディングとは？という内容で発表をしていただき、にゃモン誕生のきっかけや鉄道広告のブランディング活動の成功や失敗についてを報告されました。

また、池田頼紀さんにとってにゃモン事業は人生最大の楽しいギャンブルだと笑顔で話されていたのがとても印象的でした。

グループ討論では自社にブランディングは必要か？自社の強みは？というテーマで進みました。グループ内全員が自社の強みは理解をしていましたがしっかりと相手に届くブランディングのやり方を分かっていない人が多かったです。そのため、これからは自社の強みをしっかりと理解して、同友会メンバーとしっかりと意見交換をしっかりとお客様に届くブランディングを勉強しトライ＆エラーを繰り返しながら強みをしっかりと伸ばし自社の発展に努めていきます。

今回の報告でブランディング、SNS投稿は継続こそ力なり自社の強みをしっかりと理解し企業を伸ばしていく池田頼紀さんの努力・進歩をしっかりと学べた良い例会でした。

池田さんありがとうございました。

尾道鋼材（有） 亀田 仁志



例会報告者への感想、フィードバック

2月支部例会の参加者は30名でした。そのうち、23名の方から回答をいただきました！ご協力、ありがとうございました。

- にゃモンの事を語る池田さんが堂々としていてこのプロジェクトが好きなんだな—と思いました。企業イメージ向上に向けて何かを取り組んでいきたいです。
- 自社に活かせるヒントが沢山あり、勉強になりました。
- 新たな気づきが、あった！
- 報告がもう少し事例ばかりでなく考え方、なぜそこが大事ななどの深掘りした話を聞きたかった。
- グループの方たちにも恵まれとても有意義な例会でした。
- 事例紹介が多かった。付加価値を高めるにはどうしたらいいかという話が聞きたかった。
- 本日はありがとうございました。にゃモンちゃんができた経緯や実際にどれだけビジネスの収入に繋がっているかというリアルなお話が聞けて大変勉強になりました。
- とても分かりやすい、発表でどんどん引き込まれていきました。よかったです。
- 差別化するための努力がブランディングと切に感じました。
- SNSの利用法やその業態ごとに、誰に届けたいか、その結果何を得心したいかを具体的にしていける必要があるなと学びになりました。
- にゃモン事業、粘り強く取り組んだことすばらしいです。しかも結果がでているし。
- 前回からバージョンアップして、とても参考になるお話でした。我が社も本腰入れてSNSを活用して行きます。
- SNS発信をしていく上で、自社の軸というか、何をPRしてどう成果をあげたいのか、という点を社長と話し合い共用していかないとならないと感じました。
- すでぐわかりやすい報告でした。ブランディングした上でコツコツと発信を継続することで認知が広がり事業が拡大していく事例だと思います。具体的な数字やノウハウがもう少し知りたかったです。
- ゆるキャラ相棒と呼べるくらいの熱意が感じられてとても共感しました。
- とりあえずやってみる精神、継続する精神、強い気持ちにゃモンの人気度を上げ、尾道を活性化させているんだと学びました。
- いろいろな、面からのブランディングのお話が聞けて勉強になりました。
- とてもわかりやすく、聞きやすかったです。
- ブランディングについて勉強になりました。鉄道広告さんとしての今後のビジョンや思いが少し聞けたらよかったです。
- 2年前の発表と比較してプレゼン内容が充実していて良かった。
- キャラクターのことなど、リアルなお話をありがとうございました。開業医院への営業サポートという点は、マーケティング戦略として勉強になりました。
- プレ発表を数回聴かせて頂きましたが、例会本番仕上がりバッチリでした。緊張した様子もなく、いつもの明るい池田さんのペースで終日話されていたと思います。前回よりもトークスキルがパワーアップしているなと感じました。ですが欲を言えば、やはりもう少し池田さん個人のこれまでの苦労されたエピソードや、その時々での思い、変化、自分自身の今後のこと等も聴いてみたかったなと感じました。ブランディング戦略に関して、様々な事例紹介等とても参考になりました。ありがとうございました。

福山で一番「ありがとう」と言われる葬儀社を目指して。

株式会社森山仏商 取締役支配人 森山 裕紀 氏



自己紹介をお願いします。

1984年5月生まれも育ちも福山市神辺町です。井原にある興譲館高等学校を卒業後、神戸の大学に進学しました。この時点では特に目標などなく、未来の選択肢の多い一般的な学部が良いと思い進学しました。

後に、神戸の冠婚葬祭会社で4年間ほど勤務し、2011年の27歳の時に家業である森山仏商に戻りました。

4年間本社で総合的な仕事をし、2015年にアークハウス福山が出来たのをきっかけに支配人として任せられ、現在もそこで勤務しています。

支配人として店舗の管理業務を行う傍ら、取締役としても会社全体の管理をする仕事もしています。現在従業員は20名で、比較的若い世代が多いです。

会社の業務内容を教えてください。

主にお亡くなりになられた方のお見送り業務をしています。葬儀・法要の総合コンサルタントとして法事に関わる業務全般を行っています。会社自体は仏具仏壇の販売から始まっていますが、現在は自社会館での葬儀の施行や葬儀後の仏壇・位牌・墓石のご購入などアフターフォローも請け負う総合葬祭業です。自社ホールは5つの葬祭ホール・ペット葬祭所・本社の仏具販売店などがあります。

仕事のこだわりを教えてください。

この仕事に就こうと思ったきっかけが、大学生の時のバイク事故です。その際に親への感謝や命の素晴らしさに気づき、それまで家業である葬祭業に興味はなかったのですが、この事故をきっかけに世の中になくってはならない、大切な仕事だと思い、決意しました。故人を明るく見送るためにキレイで華やかな会館にしたいと思い、明るい館内やシャンデリアなどを備えたアークハウスを創り、ゆっくり故人と向き合える時間を提供するために「1日1組限定」というスタイルで営業しています。

また、福山で一番「ありがとう」と言われる葬儀社を目指し、ポリシーとして送る側も逝く側も皆がありがとうと言える場所を提案していきたい。故人もご家族も最良の時間を過ごしていただけるように日々努力しています。

同友会で期待することは？

入会のきっかけは、当社の生花を担当している日比谷花壇の平瀬さんから誘われて入会しました。自分自身でも新たに会社を立ち上げていきたいという夢があるので、様々な経営者の皆さんからお話を聞いてみたいです。今は何もノウハウなどがないので創業についてのことを特に聞いてみたいです。

今後の夢を教えてください。

やはり新たな会館を立ち上げて、アークハウスをより広げていきたいですね。尾道にも出店していきたいです。そのためにもたくさんの経営者の方から話を聞かせてもらって学んでいきたいです。

他にもグランピング葬儀・キャンプ葬儀などやりたいことがたくさんあります。飲食業にも興味があってキッチンカーでいろいろな場所に行って出店してみたいですね。

さらに個人的にサックスが趣味で、いつか故人を見送る音楽をサックスで生演奏できるようにになりたいと思っています。音楽好きな皆様、何かあったらお声がけください（笑）

ありがとうございました。（文・写真／上田）



報告者 プーカ(株) 代表取締役 岡本 茂久 氏

■とき：2025年2月18日（火）18:30 ■会場：工房おのみち帆布

【新会員オリエンテーションに参加して】

久々に新会員オリエンテーションに運営委員会のメンバーとして参加しました。

今回は新会員7名、支部理事10名、組織総務委員5名含む計23名の参加で、私が知っている中でも参加者が多く、尾道支部として新会員の方を温かく迎入れることができて本当に良かったと思います。

会の内容としても、本会の趣旨説明や3つの目的唱和の意味など司会者から丁寧な説明を織り交ぜ会を進行され、新会員の方も理解しやすかったのではないのでしょうか。私自身も20年前に受けましたが、当時は何を言っているのか全く分からず、意味が分からない単語だけが記憶に残ったことを思い出しました。

今回の内容は大きく3つの項目で構成され、同友会の活用方法を①事務局からと②会員の体験報告、③各委員会・部会の説明でしたが①では過去情報や全国の会員を検索できるデータベース活用方法がある旨、②ではプーカの岡本さんが実体験に伴う同友会の活用方法。この内容はすごく分かりやすく、キーワードは「同友会を使い倒す」ことでした。③については、それぞれの活動内容の説明や直近の行事予定を報告でした。この報告も司会者に任せるのではなく参加できなかった委員長・部会長は事前に代役を立てており、支部理事の方々の新会員をお迎えする気持ちが高く、尾道支部の退会率が低い理由が理解できた気がしました。

今回参加された新会員の皆様、岡本さんの報告にもあったように、同友会はどれだけ自己開示して使い倒せることができるかだと思います。

業種・規模は違えど、悩みの内容はみな同じなので、必ず解決に向かう糸口は同じ会員の中にあります！！

新会員の方でも、長年会員の方でも、年齢関係なく自分をさらけ出すことができる相手を見つけるための環境はここにあります。

少しでも気になること、学びたいことがあれば積極的に例会などに参加するなど、皆さんで同友会を使い倒しましょう！！

鐵萬商事(株) 池田 源典



【ご入会おめでとうございます！】

2025年2月18日(火)、新会員オリエンテーションが開催されました。さっそくですが、新会員さんの入会動機・自己紹介をご紹介します。



「人に社会に、笑顔と温もりの交流を増やす」「尾道のファッション文化を共に楽しみ高めあう」ことを目的に活動しています。同友会へは、未来を築く道標として入会を決めました。どうぞよろしくお願い致します。

オノミチファッションワークス
吉田 さちえ



鋼材をメインに陸上、海上と輸送に携わる物流会社になります。入会動機は、たくさんの気付きや学びを頂ける会だと思ったからです。他業種の方とも関わって色んな刺激を受けて、自社への落とし込みをしながら日々精進して参ります

備後海運(株)
黒瀬 隆道



総合包装資材機器の販売、提案をしている会社です。創立104年で、金物屋から始まりわら縄メーカー、農産物専用資材卸、現在と業種を変化してきました。地域に愛される会社を目指します。入会動機はこのままではいけないと思っていた時に山根食品の山根さんに声をかけられたから。

(株) 藤原商店
藤原 明

青年部会

2月例会 覚悟と行動！ツツラの青年部奮闘記～積み重ねる小さな一歩が大きなビジョンを掴む～

報告者 (株)日章自動車 代表取締役 葛籠 雅明 氏

■とき：2025年2月13日（木） ■会場：しまなみ交流館

【報告要約】

葛籠氏は廃業寸前の日章自動車へ入社したが、前職では車両整備の経験しかなく、営業のやり方もだが、ましてや経営についても右も左も分からず、悪戦苦闘していた。

更にそれらを環境や他人のせいにする「他責」の日々が続いていたが、友人からの忠告もあり、幼い頃から父に教わっていた「感謝」の大事さを思い出す。縁があり、同友会例会へオブザーバー参加し同年代の経営者の活躍を目の当たりにすることで入会を決意した。

自社の強みを探求中、同友会での学びから福祉車両特化企業を志し、会社を成長させ、念願の法人化を果たす。青年部副部長時代は9支部合同例会の座長を経験し、報告作りの中で、想いや行動の重要性に気づいた。自身も今後のさらなる成長のため覚悟を持って社員雇用へ取り組み始める。しかし同友会で学んできたことを自社へ本当に活かしているのか？と立ち止まり振り返ると、社員とのコミュニケーションが欠如していることに気づく。それらを小組会で自己開示し、周りからの助言も受け、組織作りへ一歩踏み出した。将来、日章自動車が地域の中核を担う存在になり、競争ではなく共創を実現していくことを目指している。

【総括】

報告では葛籠氏がどのように日章自動車を成長させてきたか、そして自身の事業に対する想いの大きな変化、それらに対し同友会がどのように関わってきたかがお伝えできた。先輩から助言をたくさん頂き、実践し、仲間からの協力も受け、成長するという青年部の理想の姿を体現されてきた。しかしそれは葛籠氏だけが出来る特別なことではなく、尾道青年部は発足当初から先輩方が仲間を大事にし、共に成長しチャレンジしていくという素晴らしい風土を築いてくれており、今の青年部全員にその環境は用意されている。その恩恵を受けられるかどうかは葛籠氏のように一歩踏み出せるかであり、それは自身のことを語ることから始まると考える。そのためグループ討論では自分の持つ悩みや課題を他者に伝えることを重視した。討論で自己開示したことが今後の仲間意識の向上に繋がり、尾道青年部の目指す「頂」へ向かう団結力が高まった例会となった。



(株) 浪漫珈琲 神原 真樹

女性部会

2月例会 「クレーム対応応用編」

報告者 山陽工業(株) ホテル事業部 接客課長／尾道第一ホテル サブマネージャー 岸上 美紀 氏

■とき：2025年2月26日（木） ■会場：おのみち河野屋

第2回目のクレーム対応の勉強会がありました。クレームと聞けば嫌な印象しかありませんがクレームと思うからです！と先生は言われていました。

クレームではなく、お客様のご意見、ご要望に変換したらいいそうです。

STEP1. お客様の話をしっかり聞く。

(いつ、どこで、誰と誰が、何を、どのように物事が起きたのか、どの様に発生し、どのくらいの損害、被害か。) また、社員にも周知する。

STEP2. 要望を知り理解する。

●顕在ニーズ…自覚している事。今、言いたい事。これは聞き逃してはダメ！

●潜在ニーズ…お客様の背景を考える。

クレームは悪い事ではなく、更に良くする為の学びで、最終的にあなたで良かったと言ってもらえるのが望ましいそうです。

本当に大切なのは潜在ニーズ、お客様の背景です。

今後は嫌な対応と思わず、フジタのお客様を一人でも増やしていくつもりで対応させていただこうと思いました。



フジタ (株) 矢野 三佐枝 氏

議長：岩田副支部長

■ 開会挨拶（岩田副支部長）

※岩田副支部長より、開会挨拶がありました。内容は省略します。

■ 確認・報告事項

※今後の支部例会の準備状況について報告しました。

※3月支部例会は、3/25（火）に尾道市役所で開催します。テーマは「創業10年経営指針に当たって5年の変革」報告者は(株)ファーストスタッフ代表取締役の高藤孝一氏（広島西支部）です。広島西支部との交流も兼ねています。e.doyuで西支部にも案内をしています。

※4月支部例会は、4/15（火）にシネマ尾道で開催します。テーマは「働く上での本当の喜びとは？」です。報告者は、NPO法人シネマ尾道代表理事の河本清順氏です。日程は例会企画の都合上、定例日から変更しています。各委員会でご日程変更の周知をお願いします。

■ 県理事会の報告（立石支部長）

※報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。
・2/17に開催されました。第2回経営課題と要望アンケートの結果報告が、宮崎県政策委員長からありました。アンケートの集計結果は尾道市役所にも届けます。

■ その他

※3月末までの入会承認について。現在、手続き中の候補者もいるため、3月末まで入会承認を、LINE等で行ってどうかと九十九組織総務委員長から提案があり、承認されました。

※3/1地域プレゼンテーション課題について。4年ぶりに手伝いました。学生のプレゼンレベルも上がっていました。生成AIの活用も進み、驚きました。参加人数は72名でした。地域のために何ができるか、産官学金、報道含め、オール尾道で考えていきたいと思います。池田政策環境委員長から報告がありました。

■ 討議事項

テーマ：中期ビジョン策定と推進に向けて その4

※次期中期ビジョン、2025年度スローガン、重点方針、委員会部会の計画と予算を確認したの全体で意見交換を行いました。

【次期中期ビジョンの確認】

- ・正副で情報更新し、中本理事が編集集中。
- ・書き出しは前向きな内容に修正予定。
- ・中期ビジョンに掲げる数値の確認をし、了解されました。
- ・作成スケジュールを改めて中本担当理事、山根副支部長に確認することになりました。

【予算、計画についての意見】

- ・支部例会の予算組について
→支部例会の予算は委員会では持たないことになりました。
- ・でべらの製作費用は、広報委員会から独立させたらどうか。
→このままにします。でべらは広報委員会の努力の傑作のため。
- ・増強費用の設定
- ・地域内連携について。やまなみ・しまなみ連携の実施について。代表者の交通費補助運用の検討。
- ・中期ビジョン推進→冊子作成費用（印刷、デザイン費用の見積もりを）。「中期ビジョン作成費」
- ・県行事バス代の補助
- ・合同行事の開催について確認しました。

【支部例会担当について】

- ・正副担当が連続する。スケジュール的に難しいと思う。
- ・2026年の4月に求人社員教育で尾道支部独自の入社式をしていただけないか。

【議案作成のスケジュール】

- ・委員会部会の修正資料は3/13まで。事務局へ。
- ・3/17の委員長会で確認。
- ・3/17を受けて、次回正副3/25で確認。
- ・4月支部理事会で再検討。議案にのせる予算、方針、計画の文章の確認

■ 委員会・部会の報告

※各委員会・部会より報告がありました。

■ 増強の情報交換（正副・委員長・部会長）

※各委員会・部会より、入会候補者や退会希望者の情報を共有しました。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（九十九組織総務委員長）

今年度目標会員数

130名 年度末まで

現在会員数

127名

【入退会のお知らせ】

入会希望者2名

KUSUMI 楠見 真保氏・笹井縫製（有） 佐原 弘章氏

※2025年3月5日現在 会員数は127名です。

■ 閉会挨拶（島田理事）

※内容は省略します。

■ 次回の理事会

4月2日（水）19:00～ 会場：工房おのみち帆布

尾道支部 2025 年 4 月 委員会・部会行事のご案内

組織総務委員会

■日時：4 月 日 () 19 時
■会場：
■内容：仲間づくりの進捗

広報委員会

■日時：4 月 21 日 (月)
■会場：
■内容：でべらミーティング

経営労働委員会

■日時：4 月 3 日 (木)
■会場：サテライト会場および Zoom
■内容：経営指針発表会

求人社員教育委員会

■日時：4 月 日 ()
■会場：
■内容：

政策環境委員会

■日時：4 月 日 ()
■会場：
■内容：

青年部会

■日時：4 月 12 日 (土)
■会場：尾道国際ホテル
■内容：青年部会総会 & 卒業式

女性部会

■日時：4 月 日 ()
■会場：
■内容：
■講師：

支部理事会

■日時：4 月 2 日 (水) 19:00
■会場：工房おのみち帆布

4 月 支部例会

「働く上での本当の喜びとは？」

■日時：4 月 15 日 (火) 18:45 ~ 20:45
■会場：シネマ尾道
■報告者：NPO 法人シネマ尾道 代表理事 河本 清順 氏

スケジュール

2025 年 4 月						2025 年 5 月					
2	3		12	17	21	1	7		15	19	22
支部理事会	経営労働委員会		青年部会	支部例会	広報委員会	経営労働委員会	支部理事会		支部総会	広報委員会	県総会

一般社団法人
広島県中小企業家同友会尾道支部 発行
事務局：〒720-0066 福山市三之丸 8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F
TEL：084-923-0286
FAX：084-923-0284
e-mail：fukuyama@hiroshima.doyu.jp
【発行責任者】立石 良典
【広報委員長】高垣 将一



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e-doyuのスマホ版が便利！

QRコードから簡単ログイン！

